

2016年10月7日
株式会社東陽テクニカ

“2016年国際航空宇宙展”に出展
衛星・ジェットエンジン試験のソリューションを紹介
～各種センサとデータ解析用機器を展示～

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、航空宇宙に関連する企業が一堂に会する「2016年国際航空宇宙展」（会場：東京ビッグサイト、会期：2016年10月12日(水)～15日(土)）に、衛星試験やジェットエンジン試験などに使用する製品およびソリューションを出展します。

【東陽テクニカのソリューション】

東陽テクニカは、衛星や航空機の開発で必要とされる実験データの取得、解析、出力信号の制御を行う製品・ソリューションを取り扱っております。

衛星の打ち上げ試験、ジェットエンジン試験、航空機の機内・機外騒音試験などで必要とされるデータは、PCB Piezotronics社^{※1}製の振動・加速度・圧力・騒音測定用センサや、OPTEL THEVON社^{※2}製のジェットエンジン回転分析用光学式回転検出センサから取得し、Mueller-BBM社^{※3}製音響加振システムで解析および出力信号制御を行うことができます。

さらに、当社では衛星や航空機に使用される機器のHALT試験^{※4}システムの販売ならびにHALT試験サービスを行っています。短時間に製品に強いストレスをかけるHALT試験を行うことで不具合が生ずる箇所や症状など製品の弱点を短期間で把握でき、市場における不具合発生を未然に防ぎ、信頼性確保ができるようになります。

今回、計測の効率化から、設計、品質、信頼性の向上までを「2016年国際航空宇宙展」にて提案します。上記製品を含め、展示する当社取り扱い製品は、海外の多くの航空宇宙産業に関連する企業や研究機関に採用されています。

【東陽テクニカの強み】

東陽テクニカは、「技術と情報」をキーワードに日本の技術ならびに国内産業発展に寄与することを使命として、60余年にわたり、海外の優れた最先端の「測るツール」、サービスならびにソリューションを日本の様々な分野における研究・開発者に提供し、信頼できる製品として利用いただいております。



＜展示製品例＞

製品の販売に加え、技術サポートや品質管理、校正などの製品のメンテナンスをも一貫して行っています。お客様に安心して長期にわたり製品を使っていただけるよう、当社社員は各海外メーカーにて製品・技術研修を受けるなど日々技術向上に努め、また、国際規格 ISO/IEC17025 認定を有する当社校正センターにて、計測器の生命である「正確さ」を維持する校正サービスを提供しています。

【展示会概要】

- 展示会名： 2016 年国際航空宇宙展
- 会期： 2016 年 10 月 12 日(水)～15 日(土)
 - ・ 10 月 12 日(水) 12:00～17:30
 - ・ 10 月 13 日(木)～15 日(土) 9:30～17:30
- 会場： 東京ビッグサイト 西 1 ホール
- 小間番号： W1-066
- 主催者公式サイト：<http://www.japanaerospace.jp>

【主な展示製品】

- ✓ Mueller-BBM 社製音響加振システム
- ✓ PCB 社製各種センサ（振動、加速度、圧力、マイクロホン）
- ✓ OPTEL THEVON 社製光学式回転検出センサ
- ✓ Qualmark 社製 HALT 試験システム
- ★東陽テクニカ 製品サイト <http://www.toyo.co.jp/mecha/>

- ※1 PCB Piezotronics 社は 1967 年に米国ニューヨーク州バッファローで設立され、ダイナミックな圧力や荷重、振動を測定することが可能なクォーツ（水晶）圧電素子を用いた各種センサの専門メーカーとしてスタートしました。その後様々なタイプの加速度計やロードセル、インパクト・ハンマー、トルクセンサ、マイクロホン、手腕振動計へとラインアップを拡げ、現在では高性能センサの世界的ブランドです。
- ※2 OPTEL THEVON 社は、光学式回転センサと光ファイバプローブの専門メーカーであり、特に高速回転機械用として世界的に認識されています。OPTEL THEVON 社の製品は通常回転計測、ねじれ振動解析、角度分析を高い精度で行うことが可能です。
- ※3 Müller BBM 社は、1962 年に騒音振動の計測、低減を目的としたコンサルタントを業務とする会社として設立されました。その後、コンサルタント業務を行い蓄積したノウハウにより、音響加振システムを開発しました。
- ※4 HALT 試験とは、工業製品に内在する欠陥および弱点を迅速に露呈させる試験で、様々な機能試験を行います。

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953（昭和 28）年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、530 名を超える全従業員の約 7 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「はかる」技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 機械計測センサ部

TEL：03-3245-1240（直通） E-mail：PCB@toyo.co.jp

展示会ご案内サイト：<http://www.toyo.co.jp/mecha/seminar/detail/aerospace2016.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。